

## 令和 6 年度 福島大学基金研究推進事業助成による成果報告書

令和 6 年 1 0 月 1 9 日

学 長 殿

所属部局・職名

(所属・学年) 福島大学大学院 教職実践研究科 1 年

申 請 者 名

(学会参加助成の場合は参加者名)

遠藤 洺莉

助成の区分 (該当するものに○)	○ 学会参加助成 ・ 学術出版助成 ・ 学術論文掲載料等助成
事 業 名	日本発達障害学会第 5 9 回研究大会
成 果 の 概 要	<p>今回は、「学生ボランティアの学び—学習空白のある発達障害児の児童生徒に対する学習支援を通して—」というタイトルで、ポスター発表を行った。内容は、学生のボランティアへの参加回数の多少から得た学びに違いが生じるか、参加後の自由記述から明らかにするのを目的としたものである。</p> <p>当日のポスター発表の際には、沢山の方が、話を聞きにきたり、質問をしにきてくださったりした。このことから、この研究の分野に関心を持っている方が多いことが分かった。また、学習支援について研究をなさっている方と話すことができたこともとても大きな学びに繋がった。その方とのやり取りから、お互いの研究の取り組みの様子や、他県の現状や課題を知ることができ、今後の研究について新たな視点をもつことができた。さらに、この分野の研究をこれから取り組もうとしている方とも出会い、意見を交換することができた。その中で、学習空白への学習支援の研究や実戦は、注目されているが、まだまだ普及し切れていない部分があることを改めて感じ、研究をし続けることの重要性を確かめることができた。</p> <p>一方で、参加回数の多少の分け方や分けた回数の根拠をより明確にすること、カテゴリーを変えながら分析することなどの課題も明らかにすることができたので、今後の研究に生かしていきたい。</p>